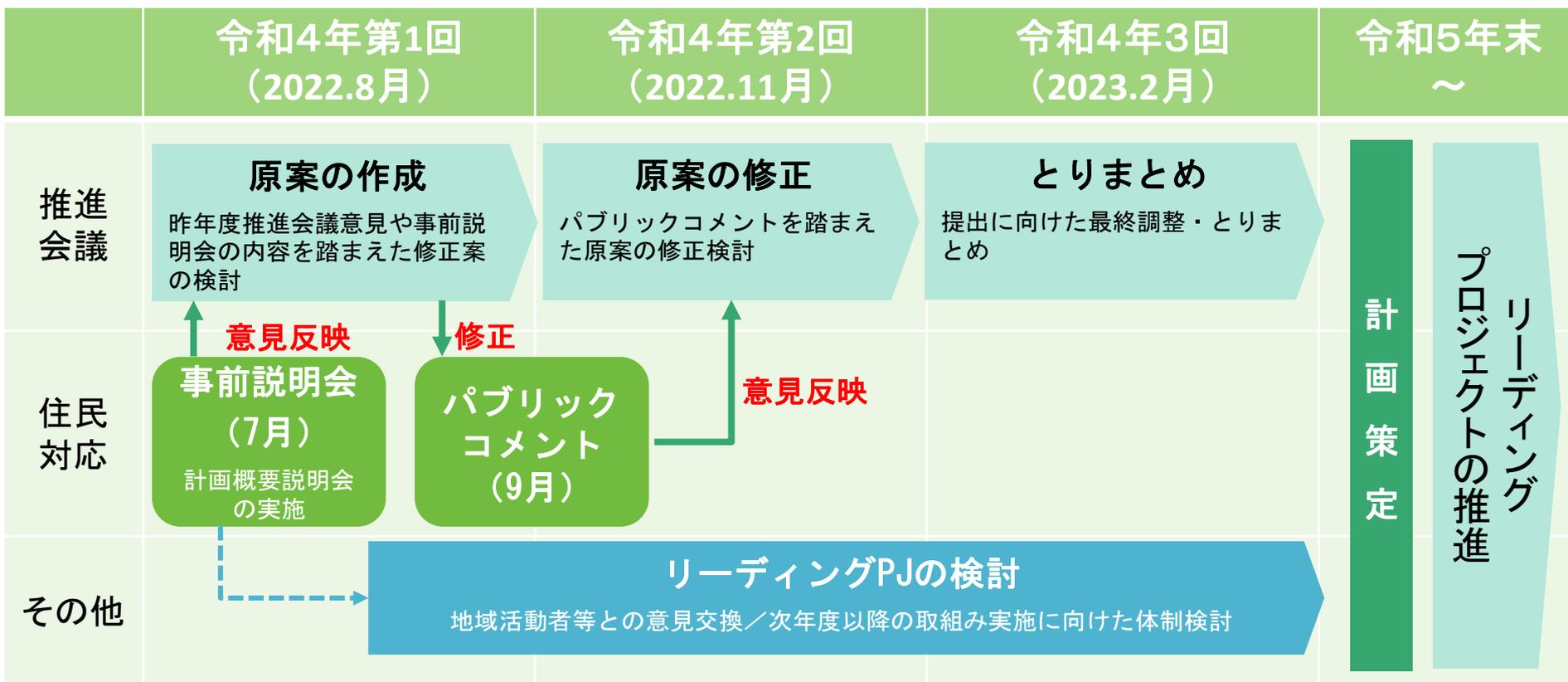


Ⅱ. 愛宕・貝取・豊ヶ丘地区等まちづくり計画検討

1. 今年度のすすめ方
2. 計画素案からの修正点
3. まちづくり計画策定に向けた事前説明会の開催報告
4. 愛宕・貝取・豊ヶ丘地区等まちづくり計画（原案）概要説明

1. 今年度のすすめ方

- まちづくり計画策定にむけ、市民説明会（事前説明会）や、パブリックコメントの実施を行い、市民意見等を踏まえた計画のとりまとめを実施する。
- また計画に掲げるリーディングプロジェクトの推進に向け、地域との意見交換等を実施し、具体化を図る。



2. 計画素案からの修正点

(1) 計画素案からの修正点

《4章 リーディングプロジェクト/5章 想定スケジュール》

- **住替え支援**など既存制度と連携した方策の検討を想定。(原案概要P16)
- ペDESTリアンデッキ等の**既存ネットワークの活用**は、交通・移動面のみならず、「**健幸まちづくり**」の要素も含め掲載(原案概要P14)
- 早期の取組みの実施を目指し、引き続き連携方策について検討。**地元等との意見交換や勉強会を通じた検討体制の構築**を目指す。(原案概要P19,P20)

《6章 推進に向けた行政支援》

- スケジュールの実現に向けて、**民間事業者と地域住民との共創による地域課題を解決する場**をつくり市民が主体となった持続可能なまちづくりの実施を支援ことも想定。(原案概要P21)

3. まちづくり計画策定に向けた事前説明会の開催報告

- 市民への計画概要説明として「7/16/関戸公民館」、「7/22/ベルブ永山」、「7/27/パルテノン多摩」の計3回を開催。

■説明会のご意見

項目	質問・ご意見	回答
移動・交通	ラストワンマイルは主要道路から自宅までの移動を解決するという考えか	想定の通り。団地からバス停までを解決する手段として、電動車いすや少人数のゴルフカート等のようなモビリティの導入を考えていきたい。
	貝取・豊ヶ丘のバスは谷を通っているが、バス停自体を再編する考えはないのか。	公共交通については市でも社会実験などに取り組んでおり、愛宕ではミニバスの社会実験を実施した。今後公共交通再編計画に基づく、社会実験を行いながらあり方を考えていく。 貝取・豊ヶ丘はバスが充実しているが、住棟からバス停がある幹線道路までの距離が移動障害になっている。解消策として、ゴルフカートのようなモビリティ等を使って既存の路線バスにアクセスすることやシニアカーのようなパーソナルモビリティなどの活用なども考えられる。このような方向性の検討をするプロジェクトとして移動の円滑化プロジェクトで掲げている。

3. まちづくり計画策定に向けた事前説明会の開催報告

項目	質問・ご意見	回答
住宅（分譲・賃貸）	ゾーニングの環境配慮型再生ゾーンについて、集約とはどのような意味か教えてもらいたい。	例えば、現在5棟ある団地をEV付きの高層に建替を行い棟数を減らすことで敷地内の空間を生み出すこと等を指している。建替には種類があり、1棟毎の建替もあれば現在の入居戸数に合わせて複数棟をまとめて戸数を減らしながら建替を行う手法もある。今回例示した集約もやり方の1つであるということでご提供したところ。
	分譲住宅再生プロジェクトの支援メニューの充実について具体的に教えてもらいたい。	諏訪・永山地区ではまちづくり計画を策定することで東京都の専門家派遣や耐震性の調査などの分譲住宅再生プログラムが補助対象になった。 同地区においてもまちづくり計画を策定することで支援メニューの対象になることも制度としてあり得る。
	公的賃貸住宅再生プロジェクトについて、建替えとなると時間を要するため、既存中層団地のEV設置等の検討はしていないのか。	本PJの推進に向け、今後都やJKK、URとともに検討を進めたいと考えている。
	公的賃貸住宅再生について、東寺方団地に友人が住んでおり、私も近所に住んでいる。愛宕団地の居住者から愛宕団地は建替えず、他の団地に住み替えて終了と聞いているが、資料によると建替えの可能性はあるのか。	現在は旧西愛宕小の敷地に新しい住棟を建てている。恐らく今後、和田・東寺方団地の居住者がそちらに移転するのだろうと思料される。現在のところ、愛宕3・4丁目の団地の住棟の建替えについては東京都からは伺っていない。

3. まちづくり計画策定に向けた事前説明会の開催報告

項目	質問・ご意見	回答
その他	第三小学校の建替えについて、地域防災の視点等を踏まえた計画としてもらいたい。	現在教育委員会から建替えの話を聞いているが詳細は把握できていない。市として整備が決定した際は、教育委員会や防災所管部署等と連携し、進めていきたい。
	市庁舎の建替えはいつごろか。	今年度・来年度で基本構想としての方針を示し、基本設計などを経て今後およそ10年程度で建替えていくようなところ。
	乞田川での親水的なイベントを行うなど川辺の環境を活かしたまちづくりを進めたいと考えているが、なかなか進まない。	地域のまちおこしや地域の人を楽しめること等地域活性化などの声があることは市としても承知しているが、安全面などを踏まえると、河川管理者としては難しいと伺っている。